

関西TDAテキスタイルデザインスクール日記

西日本スクール運営委員会

■スクール2(7月6日)、スクール3(8月3日)、スクール4(9月7日) ■大阪化学繊維会館

関西で初めてのテキスタイルデザインスクールが開講して4ヶ月。スクール4までたどりついたご報告として、そのシーンを垣間見ていただきます。

このスクールの初めの3回は、「今を知る」のテーマで一連のグループをなしているのはご存知ですね。以前紹介したスクール1:「知っていますか?グローバルビジネスの伸展」に続いて、スクール2「マーケットの行方を見極めよう」の開講です。

第一講座は、「変貌するマーケット」と題して、日本の流通業・小売業の変遷と今後の姿を豊富で(貴重な!)データを基に解説されました。国内外の事例をひも解きながら今後のキーワードまで丁寧に惜しげも無く披露されていました。

第二講座は、「最新ファッション・マーケティング」。ファッションマーケティングの狙いや切り口の面から、消費者の求める「今」の視点が紹介されました。

第三講座は、「ファッションを読み解くキーワード」で、恥ずかしながら小生の出番でした。ファッション現象の底流を流れる消費者の意識の変化を探ってみました。でき映えについてはこの次に…。

以上、スクール2は、マーケット・データから身近な生活事例まで、硬軟取り混ぜてのマーケットの大解説となりました。もちろん各講座ともかいつまんでのダイジェストですので、詳しく知りたい方は講師に声をかけ下さい。

さて、「今を知る」の最後、スクール3は、「今を表現する素材とは」のテーマで、今現在、マーケットで求められる素材の解説です。

第一講座は、「ファッションマテリアルとして今求められているもの」。ファッション産業の興りから21世紀初頭までの、ファッションマテリアルについての時の旅路の80分弱。圧巻は参加の皆さんに配られた「一枚の年表」…。講師達の努力の結晶です。

第二講座は、「現代社会と機能素材の熱い関係」。現在展開されている機能素材と、機能素材が求められる背景を、社会意識の変化からひも解きました。

以上、スクール3は、素材背景としての「今」の説明と、最新テキスタイルを学ぶグループ2への橋渡しでした。

グループ2:「今を支える最新のテキスタイルを学ぶ」のスタート、スクール4は素材編です。綿と合織の最新素材を手にとった体験スクールとなりました。

第一講座は、「合成繊維と糸/原料・技術の今」として、合織の基礎知識、進化の視点、今後の開発方向を豊富な素材サンプルで、これでもかの大安売り(?)。

第二講座は、「天然繊維と原料・素材・技術の今」で、マテリアル・トレンドの中心にある綿の大講座です。1時限に引き続いての素材の大盤振る舞いで、世界最高の綿素材やエコロジー素材として業界注目の各種のわたまで触り放題の贅沢なスクールでした。そうそう、お土産の「化学せんい」と「COTTON」の冊子だけでも大収穫。

これでスクール2・3・4のご報告は終わりです。

さて、今後の2つのスクール(5・6)は、テキスタイルの現場で活躍されている方々の、日々の業務だけでなく、開発の姿勢や苦労、成功例などが直接うかがえる貴重な機会です。

申し込まれている方は欠席なさらないように、また、申し込みなりたい方は…(実は現在でもかなりな盛況ですが、まあ、スタッフや役員は立ち見ということで)あらたにお申し込み下さい。

最後に一言。講師全員、昨日までの経験に明日の展望を入れるべく、勉強会の連続となっています。こんなしんどい思いは一度でたくさん…、ということで来年のスクール講師はあなたの出番です。

(レポート 山内 誠)



残暑の中、スクール4の受講



スクールのリーダー 山内 誠 講師



鈴木 洋行 講師



平岡 清 講師



寺井 洋介 講師